

RACESENSE

User Manual v1.2



FASTMATERACING.COM

- 圧力単位 : bar / psi / kPa / kg / cm²
- 温度単位 : °C / ℉
- 最大圧力 : 6.89 bar / 100 psi
- 計測精度は +/- 0.01 bar 又は 0.1 psi 通常使用時は 60 psiまでは 0.1 psi 単位, 60 psi 以上は 0.2 psi 単位
- 温度精度 : +/- 1 °C

INTRODUCTION AND FEATURES



CHARGING

RaceSenseは充電可能なバッテリーを内蔵、充電は電源を切った状態で USBケーブルを接続し2時間以上充電してください。

バッテリーライフ スタンバイ状態で約3か月、使用状態で24時間。

注意事項：バッテリーが無くなった場合は日付・時間を再セットしてください。

- 1, RaceSense とパソコンを接続
- 2, RaceSense はUSB Driveとして表示
- 3, メモ帳で ReadMe.txt ファイルを開き保存

STARTING UP

RaceSenseには シングル読み取り用のゲージモードとマルチタイプモード(2輪・4輪)の2つの操作モードがあります。

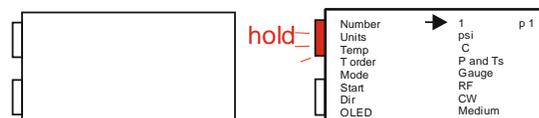
RaceSense が OFF の場合

電源ボタンを押すと ON



又は

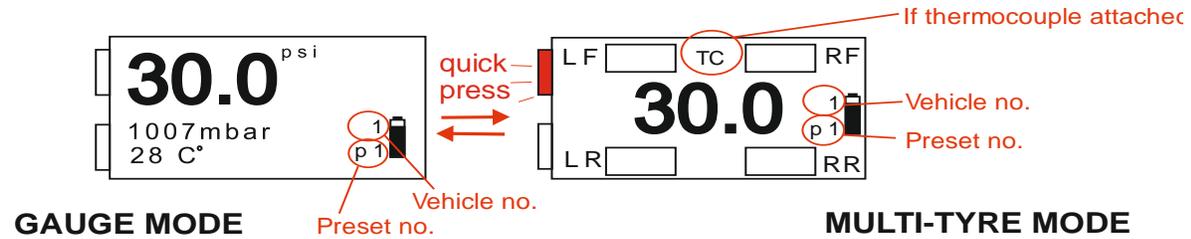
電源ボタンを長押ししてセットアップモード
電源を切る場合は電源ボタンを押し続けます。



MODE切り替え

RaceSense が ON の状態で

電源ボタンを押してゲージモードとマルチタイヤモードを変更します。



シングルモード測定

エアバルブに取付て 1輪を測定、
Bleed Valve で調整

指定した全てのタイヤを測定

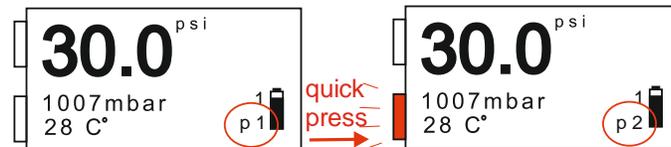
ボタンを押さずに内圧を順番に測定、
測定したデータは自動的に保存
(詳細はマルチタイヤモードの操作方法を参照)

SETTINGS

RaceSense は、最大7つのプリセットを保存できます。各プリセットには様々なオプションの設定が可能です。これらを設定することで様々な車両に使用することができます。

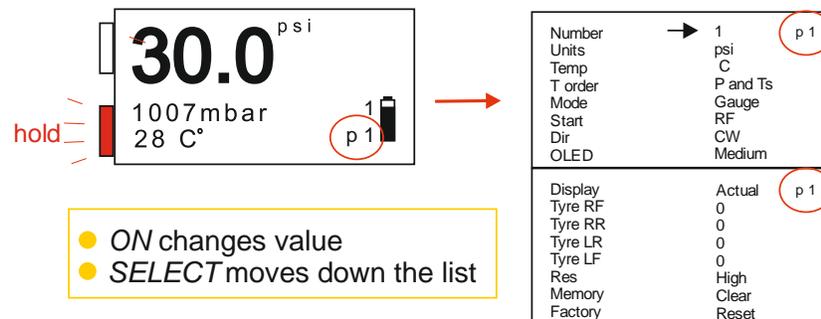
ゲージモードでは バッテリーアイコンの横に車両番号とプリセット番号が表示されます。

プリセット番号を変更する場合は SELECT ボタンを押します。



プリセット設定を変更する場合は、ゲージモードを選択し 希望するプリセットが選択されている事を確認してから、SELECT ボタンを押し続けます。

(又は 電源を切ったり入れるときは ON ボタンを長押ししてください)



1, NUMBER

矢印が出るまでSELECTボタンを長押しします。そしてONボタンを押すと車両番号が点滅します。
ONボタンは車両番号が大きく、SELECTボタンは車両番号が小さく変化します。
それぞれのボタンを長押しすることで車両番号が大きく変化します、希望の車両に達したら点滅が止まるまで数秒かかります。

OPTIONS: 0 to 255

2, UNITS

タイヤ内圧計測単位の選択

OPTIONS: psi, bar, kg/cm2 or kPa

3, TEMP

温度計測単位の選択

OPTIONS: centigrade or Fahrenheit

4, T ORDER

*Ps and Ts- 各タイヤ毎に内圧と各温度を測定

*Ts first - 全てのタイヤ温度を先に測定した後 全てのタイヤ内圧を測定

*Ps first - 全てのタイヤ内圧を先に測定した後 全てのタイヤ温度を測定

Ts only - 全てのタイヤ温度のみ測定

*注意: 温度プローブ未接続の場合 タイヤ内圧のみ測定
(MULTI-TYRE MODEを参照)

OPTIONS: Ps and Ts, Ts first, Ps first, Ts only

5, MODE

MULTI-TYRE MODEを参照

OPTIONS: Gauge, 4 tyre or 2 tyre

6, START

タイヤ測定開始位置を選択

OPTIONS: 4 Tyre: RF, RR, LF or LR
2 Tyre: FRONT or REAR

7, DIR

タイヤ測定の順序を選択

OPTIONS: 4 Tyre: CW clockwise or CCW counterclockwise
2 Tyre: N/A

8, OLED

画面照度(明るさ)を選択

OPTIONS: Low, Medium, Bright

9, DISPLAY

OFFSET MODEを選択した場合、実際の測定値ではなく 少しずれた測定値を表示します。
これは測定した数値を周りにも知られることを防止するためです。

OPTIONS: Actual or OFFSET

Offsetを選択

矢印が TireRF を指すまで Select ボタンを押します。 ON ボタンを押すと RF offset が点滅します。この状態で ON ボタンは値がプラス、Select ボタンはがマイナスします、どちらかのボタンを押し続けると値は大きく替わります。必要な値に達したら 点滅が止まるまで待ちます。残りの全てのタイヤについても同じ操作を繰り返します。

10, MEMORY CLEAR

RaceSense は最大64セットの記録を保存できます。メモリ一杯になると最も古いメモリから順に消去されるため 常に最新の測定値が得られます。

メモリ全体を消去したい場合、Select ボタンを押して Memory clear の項目を選択し ON ボタンを押すことで Memory clear の画面移動します、その後 ON ボタンを長押しする事ですべてのメモリは消去されます。

* 注意 : 一度消去したデータは元に戻すことができません。

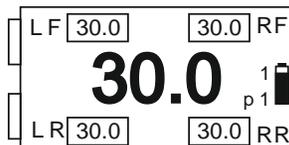
11, FACTORY RESET

注意 : この操作により、全てのデータが消去されプリセットが初期設定になります。

Select ボタンを押して選択矢印がFactory Resetを選択してON ボタンを押すと確認画面が表示されます。ON を長押しすると初期設定に戻す事ができます。

MULTI-TYRE MODE

タイヤ内圧測定(熱電プローブは未装着)



IN SETUP(セットアップ)

- 測定タイヤ位置設定
- 測定タイヤ順序を設定
- 測定タイヤ本数を設定

測定開始をするタイヤのバルブに取付て希望内圧になるまで調整を行ってください。その状態でボタンを押さずに次のタイヤに移動し測定調整を繰り返してください。

測定をやり直す必要がある場合は Selectボタンを押すと一本前のタイヤに戻ります。全てのタイヤ測定が終わると測定データ(測定値、時間、日付、温度及び内圧)は自動的に保存されます。

過去の測定データを見直す場合は Selectボタンを押します

Adj	28.2	↑	28.2
	28.2		28.2
Max	31.1	↑	31.4
	32.2		32.7
1/7/2020 psi			
15:09:34			

(上記表示は車両を上からみた最後の測定値を表示しています)

PRESSURE AND TEMPERATURE MEASURING (内圧 & 温度測定)

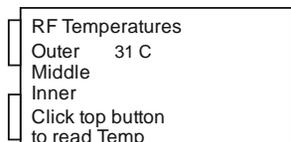
Race Sense にタイプ K の温度プローブが取り付けられている場合に温度の測定ができます。

*必ず電源を入れる前に温度プローブを取り付けてください。

SETUPで測定順序が正しく設定されているか確認してください。

タイヤの内圧測定を行ってから温度測定を行うか 温度測定を先に行うかの選択ができます。

* Tsモードを選択し 温度プローブが取り付けられている場合 各タイヤの内圧を測定する前に各タイヤの内側、センター、外側の温度測定ができます。



IN SETUP

測定タイヤの設定、順序の設定、2輪又は4輪のタイヤモード、Tオーダーの設定

温度測定する場合 温度プローブの先端をタイヤの最も厚い部分に3~5ミリの深さまで差し込んで測定してください(全てのタイヤ温度測定も同じ条件で測定してください)。

測定値は温度が安定するまで少なくとも4秒以上保持してください。

測定後 ON ボタンをクリックして読み取りを行なった後 次のタイヤに移動し同じ測定を繰り返します。

APP

RaceSense アプリを “App Store” 又は “Google Play” からダウンロードしてください。

IPhone7以降、NFCを搭載したAndroid 5.5以降に適合しています。

このアプリが”ロケーションをモニターできる様にする”をクリックしてください。

1, TO SCAN



iPhone: SCANを押すと スキャンポップアップウィンドウが表示されスキャンが有効になります。

Android: 設定がONになっている場合は常にスキャンを利用できるため、必要ありません。

携帯の上部を RaceSense の中央にあるNFCラベルにかざします(一部の携帯ではNFCアンテナの位置が異なる場合があります)。

同期すると ビープ音が鳴り、携帯がデータをアップロードします。

(ビープ音が聞こえない場合は race Sense を少し動かして 携帯のNFCアンテナに近づけてください)

これで データを表示することができます(場所は、データを同期した時の場所がマークされます)。

2, DATA

SORT: データテーブルの任意の列の頭をタップして その列で並べ替えができます。

DELETE: 任意のデータをタップして Delete Record ボタンをクリックするとデータが消去されます。

(削除したデータは元に戻せません)

EDIT LOCATION AND NOTES:

データテーブルの適切なセルをタップすると、編集ダイアログが表示されます(、例えば GPSの場所がサーキット名称に対応していない場合があります、その場合は “Always change this location” のチェックボックスをONにしてアップロードすると編集されたテキストとして保存されます)。

(Android携帯には非対応です)

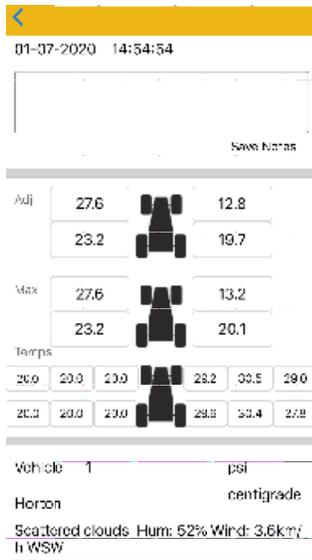
DELETE ROW EXPORT													
Date	Location	RFMaxP	RFEndP	RRMaxP	RREndP	LRMaxP	LEndP	LFMaxP	LEndP	RFOut	RFMid	RFIn	RROut
01-12-2019	Brands Hatch	31.8	30.1	33.4	31.2	32.8	31.7	34.5	32.0	33	44	44	23.7
05-12-2019	Brands Hatch	31.8	30.1	33.4	31.2	32.8	31.7	34.5	32.0	33	44	44	23.7
01-12-2019	Brands Hatch	55.6	30.1	36.7	34.1	35.3	33.8	35.7	32.0	23.7	24	23.7	24
03-12-2019	Silverstone	39.1	31.3	36.2	33.4	41.5	31.2	40.6	32.4	33	44	44	23.7
08-11-2019	Knockhill	39.1	31.3	36.2	33.4	41.5	31.2	40.6	32.4	33	44	44	23.7
10-11-2019	Silverstone	44.3	29.5	36.3	30.5	35.8	32.5	34.5	33.4	44	43	45	44
05-12-2019	Cadwell Park	45.1	31.3	46.2	32.5	45.5	31.3	44.5	32.0	33	44	44	23.7
11-11-2019	Cadwell Park	45.1	31.3	46.2	32.5	45.5	31.3	44.5	32.0	33	44	44	23.7

RFIn	RROut	RRMid	RRIn	LROut	AmbP	Car	Notes	Weather	WindSpeed	WindDir
44	23.7	24	33	44	1100	1	Finished 10th	Wet	10.9	NE
44	23.7	24	33	44	1007	2	New tyres	Wet	10	W
23.7	24	23.7	24	23.7	1099	1	n/a	Dry and sunny	25.8	SSE
44	23.7	24	33	44	1288	1	Race 1 position2	Few clouds	10	N
44	23.7	24	33	44	1125	1	n/a	Few clouds	30	NNE
45	44	45	46	39	1054	3	Very slippy	Wet	10	SSW
44	23.7	24	33	44	1022	2	Coached	Wet	10	SSE
44	23.7	24	33	44	1228	1	n/a	Scattered rain showers	14	SSE

v 最初の列(時間)をタップして、レコードごとに1つのページを表示させます。

若しくは最後のレコードボタンをタップして、最新のレコードページを取得します。

メモもここに追加することができます。



3, OPTIONS

CHOOSE DATA TO VIEW: RaceSense は様々なデータが提供できます。 列を非表示にするときは これを設定するか、「温度を非表示」をチェックして全ての温度測定値を非表示にすることができます。

SELECT UNITS: RaceSense は ps と °C で初期設定されています、 希望の異なる単位で表示させるには ここで必要な単位を選択することができます。

EXPORT: データのcsvファイルを電子メールで送信することができます。

DELETE: アプリのデータと設定を消去することができます。

FIRMWARE UPGRADING

RaceSenseタイヤゲージのソフトは新しいソフトがリリースされ使用可能となった場合にアップグレードができます。

最新のリリースとアップグレードの手順については <http://fastmateracing.com> を参照してください。

WARRANTY AND CARE

RaceSense は防水ですが水に浸したり 濡れた状態で長時間放置しないでください。 お客様自身での分解又は、変更をした場合は保証ができません。

RaceSense を衝撃、硬くて鋭利物、高温、長い時間の直射日光等から保護してください。

使用しない場合は RaceSense を室温の清潔で乾燥した状態で保管してください、 また 化学薬品や洗浄剤を使用した場合、シール、ケースその他が損傷する場合があります。

This warranty is only extended to the original purchaser and covers failures due to defects in materials or workmanship that occur during normal use. It does not cover damage or failures resulting from neglect, accident, misuse, mishandling, alteration or modifications of the product or any failure caused by the operation of the product outside the scope of its published specifications. FastmateRacing shall in no event be liable for any incidental or consequential damages arising from the use or inability to use the product. FastmateRacing do not assume any responsibility for losses or claims by third parties that may arise through the use of this product. If a claim under warranty appears to be necessary email hello@fastmateracing.com (or telephone +44 (0)1784 481562) to obtain a returns number before returning your RaceSense.

This User Manual and its contents are intended solely for the use of our customers to obtain knowledge regarding the operation of the RaceSense tyre gauge. The contents shall not be disclosed or reproduced without the prior written consent of Swimovate Ltd. Great care has been taken to ensure the accuracy of this documentation but it's contents are subject to change at any time without notice. The latest version of this documentation can be downloaded from <https://fastmateracing.com>.

The CE mark is used to mark conformity with the European Union EMC Directive 2014/30/EU .

Swimovate Ltd, trading as FastmateRacing
Copyright © 2020 Swimovate Ltd

for support please email hello@fastmateracing.com

www.fastmateracing.com